

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890500212
法人名	新居浜医療福祉生活協同組合
事業所名	あったかほむ たかつ
所在地	新居浜市高津町3番20号
自己評価作成日	平成28年11月21日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成29年1月25日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

重度化に伴い、看護・介護も大変になっている。  
最期まで安心して、過ごしていただけるように医療連携を取り、質の向上に努めている。  
自立支援を心掛け、出来る事が増える様に努めている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員は、家族来訪時には必ず、家族と話をして関係作りに取り組んでいる。今年度は家族に協力依頼をする等して、かかわってもらうことが多かったため、法人内で取組む「自慢大会」の折には、家族と利用者が一緒に過ごしている様子の写真をパネルにして出品した。  
今年度は、系列デイサービスで車いす対応の車を借り、又、ボランティアの方に見守りの協力を得て外出支援に力を入れて取り組んだ。あまり外出を好まない方や意思表示が難しい方にも「あそこの花が綺麗に咲いとるから行ってみよや」「さんの生まれた所に行ってみよや」と誘ったり、写真を見せて「ここに行ってみない?」と誘って、外出に気持ちに向くように工夫した。利用者は「今度はこの人の生まれた所にも行ってみたい」と希望が出ているようだ。

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目: 28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 あったかほーむ たかつ

(ユニット名) 1階・2階 共通

記入者(管理者)

氏名 伊藤 道子

評価完了日 平成28年 11月 21日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 職員で話し合い、作り上げた理念を玄関や事業所、リビングに掲示して実践に努めている。	
			(外部評価) 理念を1階の玄関を入った正面に、大きく額に入れて掲示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 事業所自体は地域の一員としては、まだまだ努力がいるが、地域の方が古新聞や自宅で取れた野菜を持って来て、地域交流室『縁がわ』にて調理をし、食事会を行っている。	
			(外部評価) 春に事業所の開設5周年記念イベントを行い、利用者と職員で案内チラシを配布し、多数の地域の方の参加があった。事業所内を解放して、利用者の作品等の展示を行った。週1回、2階の一室を鍼灸治療院として解放しているため、地域の方が治療に来る。順番待ちする方が利用者と一緒にお手玉等で遊ぶこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で認知症の話し合いを行っている。また、見学に来られた時に話を聞き、困っている事に支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	<p>事業所の経営報告や現状報告を行い、意見や支援を得て、サービス向上に活かせる様に努めている。 イベントの呼びかけを行い、一緒に参加し楽しんでいる。</p>
			(外部評価)	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>市職員とは密には連絡は取れていないが、運営推進会議に出席して下さった時や生活保護受給者の方の相談等、協力を得ている。</p>
			(外部評価)	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>当事業所は身体拘束をしないケアを行っている。 夜間転倒の危険がある入居者はベッド下に畳みを敷き、対応している。</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  入居者の人権を大切にしている。 本部より届いている資料や研修報告を職員意見交換会で言い、虐待がなぜいけないかを共有し、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  本部より届いている資料を職員全員で共有し、理解に努めているが、まだ活用には至っていない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時は特に時間をかけ、説明している。 入居者や家族から疑問等があれば、丁寧に説明を行い、理解を図っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  運営推進会議や面会に来られた時に話をする機会を持っている。 また、行事やイベントに家族や知人が参加して下さり、外部に表せる機会が多くなっている。  (外部評価)  職員は、家族来訪時には必ず、家族と話をし関係作りに取り組んでいる。今年家族に協力依頼をする等して、かわってもらったが多かったため、法人内で取組む「自慢大会」の折には、家族と利用者が一緒に過ごしている様子の写真をパネルにして出品した。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 意見交換会や面接時に意見や提案を聞き、話し合いを行っている。 緊急時には臨時の会を開いている。	
			(外部評価) 5周年イベントの取り組みについては、職員の意見やアイデアを十分に採り入れて行った。管理者は、「普段では分からない職員の得意分野等を知ることができて、主体的に行うことがそれぞれのスキルアップに繋がった」と話していた。年1回、職員全員にストレスケアのアンケートを実施しており、必要と判断された職員に対しては、医師の診察を受ける事ができる仕組みがある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 年に1回の更新時に対応している。 働きがいのある職場にするための話し合いもやっている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 地域密着の研修への参加を勧めている。 また自慢大会や研修報告会等に参加し、学ぶ機会を設けている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 法人内の4つの事業所で、月1回のグループホーム会を開き、意見交換を行っている。 また他事業所の行事参加を行い、協力しあっている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居者が困っている事、要望等に耳を傾け、不安を取り除けるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			家族の要望や困っている事等に耳を傾け、不安を取り除けるよう信頼関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			入居者、家族の要望を聞き入れ、ケアプランを作成し、必要に応じて、リハビリ等も利用し、良い支援が出来る様に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			入居者と職員で昔話や人生の先輩としての教え等を共有し、関係作りに努めている。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支えられる一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			事業所のイベント時は家族も参加され、一緒に食事したり、レクリエーションを楽しまれている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			入居者が住んでいた近所の方や友人、知人等が来所されている。 また、家族の方も来所され、和やかな雰囲気過ごせる様に努めている。 以前利用していてデイサービスやリハビリへ行くと知人に会い、気軽に声を掛けてくれている。	
			(外部評価)	
			居室の仏壇に毎朝お茶を自分で供える方から、「お供え物がなくなったので買いに行きたい」と希望がある時には、買いに行けるように職員が付き添っている。調査訪問時、移動販売車が来ており、利用者は個々に、おやつ等を買っていた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) フロアで集い、昔話をしたり、歌やゲーム、ラジオ体操等を行い、入居者同士の関わりを持たれている。 外出時に花を一緒に見て、楽しまれ、良い関係作りが出来ている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) いつでも来所出来る様に、事業所作りに努めている。 事業所のイベントの案内状を出して、参加出来る様に支援している。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 思いを伝える事が出来る方は聞き、外出や外食等出来る事は支援し、実行に努めている。 困難な方は昔話や歌を歌って、楽しく過ごす事が出来る様に努めている。 (外部評価) 以前は、事業所独自でアセスメントシートを作成していたが、現在は、以前かかわっていたケアマネジャーや以前利用していた介護事業所からの情報のみになっている。日々の介護記録には、利用者の言葉は青字で記入しており、情報を集めやすいように工夫している。	利用者がその人らしい暮らしを続けられるように、今後さらに、利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、こだわりや大切にしてきたこと、生活環境等について知る取り組みをすすめてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居者や家族に生活歴や趣味を聞き、安心して生活出来るように努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 出来る事は手伝ってもらい、生活感が持てる様にしている。 ラジオ体操や指運動等に参加し、楽しく過せる工夫をしている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	必要に応じて、家族、医療、本人に話を聞き、介護計画を作成している。元気な方は希望を聞き、取り入れている。体調の悪い方は医療と話し合いを多く行っている。	
			(外部評価)		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	日々の様子を記録している。連絡事項はファイルを作り、記録を残し、職員全員で共有している。必要に応じて話し合いを行い、介護計画の見直しに活かしている。	
			(外部評価)		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	日々の会話の中で、行きたい所や食べたい物を把握して、外出や外食に出掛け、対応している。	
			(外部評価)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	ボランティア訪問の方と一緒に歌を歌ったり、踊ったり、楽しんでいる。 また敷地内のデイケアへ行き、学生コーラスや三味線のプログラムに参加し、一緒に楽しんでいる。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時より、かかりつけ医を大切にし、継続している。家族の希望により、同敷地内の診療所の医師に主治医を変更した場合もある。家族、医療機関、施設とのカンファレンスを重ね、適切な医療が受けられる様に支援している。	
			(外部評価) かかりつけ医の受診時には、看護職員が付き添い、薬の変更等について家族に報告している。総合病院や専門医の受診時には、ご家族が付き添ったり、薬を取りに行ったりしてかわっている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 入居者の状態を朝の引継ぎ時に看護師に報告を行っている。定期受診や体調に変化のある入居者が早く受診できる様に医療連携を取っている。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院となった時は、主治医よりの紹介状を持参している。入院中は何度も面会に行き、安心して治療が受ける事が出来る様に話し合っている。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入居時に指針についての説明を行い、意向を聞いている。また、体調が悪くなると医療を交えて、再度話し合いを行っている。地域の関係者と共には出来ていない。	
			(外部評価) 主治医から看取りの時期と判断があれば、医師と家族を交えて話し合い、方針を決めている。昨年は、2名の利用者について事業所内で看取りを支援した。家族に協力をお願いし、泊まってもらい、一緒に見るようなこともある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  定期的に話し合いや看護師による研修を行っているが、継続して実践力を身につける様に努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  定期的に訓練を行い、緊急時に安全に避難誘導出来るようにしている。 消防訓練時は地域の方も参加して頂き、協力を得ている。	
			(外部評価)  3月の運営推進会議時、消防署の協力を得て夜間の火災を想定した避難訓練を行っている。訓練では、初期消火、通報、利用者の敷地内診療所前への避難誘導をした。又、参加者で消火器の使い方等を体験した。備蓄は、水や食料品、衛生用品の他にバスタオルやタオルケット、衣類等じょじょに増やしている。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  入居者が笑顔で毎日生活が出来るよう、人格を尊重した呼び方や声かけをし、プライバシーを損なわない様に努めている。	
			(外部評価)  利用者が、「私は、この方と気が合うのでお食事の時も一緒に座らせて頂いているんですよ。仲良しの方が居て嬉しいです」と話してくれた。職員は「食事の時も二人でたくさんお話されるんねえ」と話しかけていた。調査訪問時、利用者職員で、かるたをすることになり、普段あまり会話を好まないが、かるたの読み手は受けてくれる方に「〇〇さん読んでくださいね」とお願いしていた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  日々の会話の中で、入居者の希望や今の思いを聞いて、実行出来る様に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入居者と話しをしながら、個々のペースを大切にし、希望にそえる様に努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 職員が定期的に爪きりを行ったり、外部から散髪に来てもらい、清潔にしている。 身だしなみやおしゃれに興味を持ってもらえる様に支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日々の会話の中から、個々の好みを把握し、献立に生かしている。 季節感や行事を食事でも味わってもらえるよう、今食べておいしい物を提供する様に努めている。	
			(外部評価) 調査訪問時、利用者は、「この食事はいつもおいしいよ」と話してくれた。事業所には調理専任のスタッフがおり、昼と夜の食事を作っている。現在、刻み食の利用者が多いため、職員は介助に専念し、その後で休憩を兼ねて別室で食事をとることになっているが、クリスマス会や節分等の行事時には利用者と一緒に食事を楽しんでいる。もやしの根とりや豆の筋とり、ふきの皮むきやお団子丸め等、利用者のできることを行えるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスや一人ひとりの状態を考慮し、好みの物を取り入れている。 体調に合わせて、食事量、水分量を調整している。 嚥下の悪い方には、おかゆやキザミ食、トロミ食にて対応している。 夜間に喉が渇く人の為に、ベット横にお茶を用意している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食事後は必ず口腔ケアを行い、うがいの出来ない人は口腔ウエットシートやスポンジ等を使用し、口腔ケアを行っている。 訪問歯科を利用し、口腔ケアや口腔マッサージ等の指導を得ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々の排泄パターンをチェックし、声掛けや誘導を行い、失敗のない様に支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々の排泄チェック表に排泄状況を記入している。職員が誘導する時はトイレを利用し、自分で行く時には自室のポータブルトイレを利用するような方もある。職員で話し合う「意見交換会」時に、利用者の状態に応じて、支援方法やパッドの種類等を検討している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食べ物や健康茶等で便秘解消に努めている。運動や散歩にて、便秘予防にも取り組んでいる。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入浴の楽しみを持ってもらえる様に、ボディソープやシャンプー等の好みの物を聞き、使用している人もいる。一人ひとりの希望に沿った入浴を行っている。入浴時の衣類選びも楽しみの一つになっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>24時間点滴を施す利用者は、様子等をみながら1週間に1回、リフト浴で入浴し、その他は清拭で支援している。入浴を嫌がる利用者には、シャワー浴やリフト浴等、職員で検討しながら支援している。入浴剤やシャンプー等は、事業所で準備した無添加のものを使用している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>安眠出来る様に室温や湿度、照明の調整を行っている。眠れないときには、ホットミルクを飲んでもらって、フロアで過ごしてもらっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護師の指導のもと、一人ひとりの病状を把握しながら、処方箋より薬の確認を行っている。 薬の変更時は職員間で申し送りを行い、服薬間違いのない様に注意し、確認を行っている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 毎日楽しく笑顔で過ごしてもらえるように、カルタやしりとり、歌を歌ったりと、皆が参加出来る様に支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 行きたい所を聞き、ドライブに行ったり、外食や買物等も希望を聞き行っている。 外出の際には、家族や地域の方の協力も得ながら行っている。 (外部評価) 今年度は、系列デイサービスで車いす対応の車を借り、又、ボランティアの方に見守りの協力を得て外出支援に力を入れて取り組んだ。あまり外出を好まない方や意思表示が難しい方にも「あそこの花が綺麗に咲いとるから行ってみよや」「○○さんの生まれた所に行ってみよや」と誘ったり、写真を見せて「ここに行ってみない？」と誘って、外出に気持ちに向くように工夫した。利用者は「今度はこの人の生まれた所にも行ってみたい」と希望が出ているようだ。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) その方の状態に合わせた支援を行っている。 欲しい物があれば、職員と一緒に買物に行き、レジで支払いを行ってもらっている。 手伝いが必要な方には職員と一緒にいる。 週に1度、移動販売(来んかい屋)に来てもらって、お菓子を買ったりもしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の申し出があれば、事業所の電話を使用したり、家族や知人の方から電話があればお話ししている。 携帯電話を個人で持っている方は、家族と連絡を取り合っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	玄関に季節の花を飾ったり、ディスプレイを行ったりと季節を感じてもらえる様にしている。 10月には太鼓祭りのCDを流したり、ポスターやハッピーを飾り、楽しんでもらえる様に支援している。	
			(外部評価)		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	入居者同士がお話したり、自由に過ごしてもらえる様に配慮している。ソファを置き、少し休める場所を作っている。 静かに過したい時は、自由に居室で過ごしてもらっている。	
			(外部評価)		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	今まで愛用していた家具、思い出の写真や飾り物等を持参して、以前と同じように居心地良く過ごしてもらえる様に努めている。	
			(外部評価)		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	個々の入居者に合わせた支援を行い、出来る事を職員と一緒にしながら、安心と安全の環境の中で自立した生活が送れるように努めている。	
			(外部評価)		